

『都市文化研究』執筆要項

1. 使用言語

日本語・英語・中国語のいずれかとする。

2. 版型

A4 版

3. 原稿の分量

原稿の分量は以下の通りとする。外国語原稿の場合も和文に相当する分量とする。

(1) 研究論文・研究報告・特別寄稿及び翻訳：

400 字換算で 60 枚以内（本文・注・図表等をふくめて、本誌の体裁で 10～14 頁）。

(2) 研究展望・シンポジウム：400 字換算で 30 枚以内（本文・注・図表等をふくめて、本誌の体裁で 5～7 頁）。但しシンポジウムの場合、内容によっては規定分量の超過を認める。

(3) 書評・学会レポート・海外レポート：400 字換算で 10 枚以内（本文・注・図表等をふくめて、本誌の体裁で 1～2 頁）。

4. 版組と 1 頁文字数

和文

(1) 要旨 横組 48 字詰 行数は可変(10～20 行) 1 段

(2) 本文 横組 25 字詰 48 行 2 段(1 頁の文字数は 2400 字)

(3) 注 横組 29 字詰 行数は可変 2 段

英文

英文は 1 段組とし、各論文の体裁にあわせて個別に対応する。

中文

中文は和文に準ずる。

5. 文字の大きさ

仕上がりは基本的に以下の文字級数で印刷される。特にこれと異なる文字の大きさが必要な箇所は、原稿に指示すること。

本文 13Q、注 11Q、要旨 13Q、図表キャプション 13Q、表の文字は基本 12Q（13Q は 9 ポイント、12Q は 8.5 ポイント、11Q は 8 ポイント程度）。

6. 題目・章タイトルほか

副題がある場合は、前後にダッシュをつけるのを基本とする。

章タイトルは 4 行取り。章タイトル及び下位の見出し表記は、編集委員会で統一を図ることがある。

7. 注などについて

「本文」「注」「引用・参考文献」「付記」の順とする。「注」のみでも、「注」と「引用・参考文献」（文献リスト）を分けても、どちらでもかまわない。注番号は、本文中では片括弧を付す。末尾の注では括弧なしとする。

8. 図・表・写真について

- ・原稿は明瞭なものとし、1点毎に別紙とする（デジタルデータの入稿も可）。
- ・図面について
製図は執筆者が行うこと。トリミング・縮小率・仕上りの大きさを指定すること。必要な文字は貼り込むか、フォント・ポイント・張り込み位置を指示した見本を添付すること。
- ・表について
印刷業者が新しく組むことを原則とする（仕上りに近い見本を作成する）。作成したものをそのまま製版することも、特殊な場合は認める（高度に複雑で、専用ソフトでないと作成できないようなもの）。打ち出しとともにデジタルデータを入稿すること。
- ・写真について
トリミング・縮小率・仕上りの大きさを指定すること。必要な文字は貼り込むか、フォント・ポイント・張り込み位置を指示した見本を添付すること。
- ・割り付けについて
図・表・写真については、仕上りの大きさを計算して割り付け、図・表・写真の複写を貼り込んで割り付けた割付見本を提出することが望ましい。そうでない場合も、使用する図・表・写真の仕上りの大きさを勘案し、頁数を算出すること。

9. 特殊文字や数式の使用

特殊な文字や記号・数式を使用する時には、必要な見本を添付すること。

○原稿の提出

- ・以下の原稿等を9月13日（火曜日）16時までに『都市文化研究』編集委員会（大阪市立大学文学部棟2F都市文化研究センター事務局内）に提出すること。
※その後の差し替え、追加原稿は認めない。
- ・打ち出し原稿（要旨、図・表・写真含む）正本1部、副本2部（副本は執筆者名を抜く）。
※打ち出し原稿（A4）は、仕上りの字数行数で打ち出すこと。また、本文、注、図表等を編集し、刷り上がりイメージがわかる形式で提出する。
なお、研究論文・研究報告・特別寄稿の場合、要旨・キーワード等を以下の通り添付すること。
①日本語論文の場合は、和文タイトル・英文タイトル、和文要旨・英文要旨、和文キーワード（5語）・英文キーワード（5語）をつける。和文要旨は600～800字程

度、英文要旨は 300～400 語程度とする。

②英語論文の場合は、英文タイトル・和文タイトル、英文要旨・和文要旨、英文キーワード（5 語）・和文キーワード（5 語）をつける。英文要旨は 300～400 語程度、和文要旨は 600～800 字程度とする。

③中国語論文の場合は、中文タイトル・英文タイトル・和文タイトル、中文要旨・和文要旨、中文キーワード（5 語）・和文キーワード（5 語）をつける。中文要旨は 300～400 字程度、和文要旨は 600～800 字程度とする。

上記以外の投稿ジャンルの場合、それぞれ以下のものを添付すること。

翻訳：和文タイトル・英文タイトル・和文解題（翻訳者による解説。原著の要旨がある場合、あるいは本文に翻訳者の解説が盛り込まれる場合などは、省略を認めることがある。和文解題は 600～800 字程度。）

シンポジウム：和文タイトル・英文タイトル・和文要旨（和文要旨は 600～800 字程度。原稿の内容によっては、省略を認めることがある。）・和文キーワード（5 語）

研究展望：和文タイトル・英文タイトル

・ 図面・表・写真原稿（必要な指示書・割付見本）

・ 大学院生の場合は指導教員の推薦状（1 枚）

内容に関する推薦および『都市文化研究』に投稿する理由を記述する。書式自由（但し、指導教員自筆のサイン、もしくは押印のあるもの）。

・ FD・CD・USB メモリなどによるデジタルデータ

原稿ファイル（Word 形式か一太郎形式）、図表（デジタルデータの場合）。

※なお書式等に関し、上記の規定に合わない原稿が提出された場合、編集委員会で確認の上、原稿受理の前に再提出（修正）を求められることがある。